



ミーンジン・ブリスベン宣言

世界湖沼会議では各回、湖沼の環境保全や持続可能な利用に関する指針を示す宣言を発出します。WLC20において採択された宣言の概要は次のとおりです。なお、原文はWLC20公式サイトよりご覧になれます。

前文

湖沼は地球上の淡水の大部分を蓄え、人類の生活・生態系に不可欠な役割を果たしてきた。しかし現在、汚染や過剰利用、気候変動などにより深刻な危機に直面している。湖沼の持続可能性を守ることは、持続可能な開発、気候変動への適応、生物多様性の保全にとって不可欠である。国際社会は国連記念日「世界湖沼の日（8月27日）」や国連環境総会の決議を踏まえ、実践的解決策、ガバナンス強化、包摂的協働を通じて湖沼の未来を守ることを誓う。

湖沼の持続可能性のための原則

1. 湖沼は生命と地球の健康に不可欠
2. 湖沼は一体的なシステム
3. 湖沼は環境と社会の変化の指標
4. 湖沼の劣化は地球の持続可能性を脅かす
5. 先住民族と地域社会の主導が不可欠
6. 気候変動には、緊急かつ適応的な対応が必要

行動へのコミットメント

私たちは以下の行動を約束します：

- 政策フレームワークへの統合
- 統合的流域管理
- 先住民と地域社会との協力
- モニタリングと研究の強化
- 技術とイノベーションの推進
- 持続可能な資金調達

グローバルな呼びかけ

- 政府へ：科学に基づいた政策と実行を
- 国連へ：湖沼をポストSDGsの枠組みに
- 国際機関へ：協定・資金面で湖沼を優先事項に
- 科学界へ：データとツールの共同開発を
- 企業へ：湖沼への影響開示と自然配慮の事業へ
- 市民社会へ：湖沼とつながり、声をあげる行動を

宣言原文はこちら

